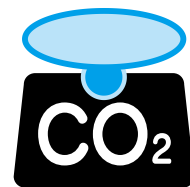




エコリーフ
カーボンフットプリント



定量型環境ラベルの将来像

ライフサイクルアセスメントの手法を用いて環境負荷を定量的に算定、ラベリングし、「見える化」を図ることは、消費者が環境負荷を意識し、より環境負荷の低い製品を購入することを促すことにより、持続可能な社会の構築につながります。定量型環境ラベルを用いたコミュニケーションは、国際的にも重要性を増しています。

本ワークショップではこうした状況を踏まえ、国内に複数存在する定量型環境ラベルをどのように位置づけ、より効率的な制度とし、効果的にコミュニケーションを図り、また、更なる普及を図っていくか、国際規格と整合を図りつつ、国内における定量型環境ラベル制度に係る課題と今後の在り方を考えます。

【日時】2013年12月12日(木) 13:30-15:30

【場所】東京ビッグサイト 会議棟1階101会議室

(「エコプロダクツ2013」会場内: 〒135-0063 東京都江東区有明3-11-1)

【定員】 100名

【参加費】 無料

【申込】 <https://jp.research.net/s/EL-CFP20131212>

【プログラム】

時間		タイトル/講演者
13:30-13:35	5分	開会挨拶 経済産業省 産業技術環境局 環境政策課 企画係長 福田 守宏氏
13:35-14:00	25分	<基調講演> 環境ラベルの未来について 東京都市大学 環境学部 環境マネジメント学科 教授 伊坪 徳宏氏
14:00-14:20	20分	定量型環境ラベルへのキヤノンの取り組みと今後 キヤノン株式会社 環境統括センター環境推進部LCA推進課 課長 望月 規弘氏
14:20-14:40	20分	ソーラーグレードシリコン/SoG-Si (中間財) のCFP取得の背景と展望 エルケム・ジャパン株式会社 代表取締役社長 伊達 裕幸氏
14:40-14:55	15分	海外の環境ラベルの状況 一般社団法人産業環境管理協会 LCA事業推進センター LCA事業室 室長 神崎 昌之
14:55-15:20	25分	定量型環境ラベルの将来像 一般社団法人産業環境管理協会 LCA事業推進センター エコデザイン事業室 室長 平野 学
15:20-15:30	10分	質疑応答